

私のボウリングの始まりは、初期ボウリングブームの昭和 40 年代からで、当時私は六本木にあった会社の寮生活で、東京タワーの下にあった東京タワーボウルや、会社近くの日本橋永代ボウルによく遊びに行っていました。当時はまだハウスボウルの域をでませんでした。

26 歳で結婚して、今の越谷に引っ越したのが昭和 42 年で、武里にパールレーン武里が開業したのもその頃でした。

私がマイボールを持ったのは、それから間もない頃で、当時デパートデモボウリング用品が販売されており、私も三越日本橋本店で、ボール、靴、バッグの 3 点セットを 3 千円位で買ったのを覚えています。そのボールを何年使用したか覚えていない位、永く使っていました。当時は今と違って、何個もボールを持たず 1 個で色々な投げ方をするものと思っていました。昭和 50 年頃ホームセンターが開鎖されるまでに買ったボールはたったの 2 個だったのです。そして 20 数年後の平成 7 年にニューパールレーン武里が再開した時のボールは以前と違って、投げる技術も違っており、又いかにレーンに合ったボールを選択するかが大事になってきました。

私もボウリングを再開してからは年に 2 個から 3 個は買って自分のイメージに出会うまで随分時間がかかりました。再開して 5 年位たった頃だったか、「レッドファイアー」という名のボールで、目が覚めました。初めて自分のイメージに合った曲がり方をするボールに出会い、アベレージも急激に上がってきました。当時センター主催の公認ゲームを年間 700 ゲーム消化、毎日 2 ゲーム以上は投げている計算になります。今でもボールの寿命は、プロボウラーなら 100 ゲーム投げれば反発力が落ちると言われており、アマチュアでも、新しいボールを買って、少しでもアベレージを上げようと必死です。

大事に使っていた「レッドファイアー」で、アベレージも上がりましたが、夢のパーフェクト 300 点はなかなかうてず 3 年位使ってついにボールが壊れてしまいました。平成 17 年、64 歳の時センターのプロに頼まれてお付き合いで買った（自分はあまり気に入ってはいなかった）ボールで、ついにパーフェクト 300 点を 9 月と 10 月に続けて出すことが出来ましたが、以後はいくらボールを替えても未だにパーフェクトどころではなくどんどんアベレージが落ちいき、増々ボールに頼る日々が続いています。

今のボウリングは投げる技術もさることながらその日のレーンコンディションの合ったボールの選択の方が大事だと言われています。

レーン上に敷かれたオイルの量がだんだん薄くなってボールの食い込みが大きくなってくるのをいち早く見分けて、投げる位置と、曲がりの合ったボールを選択するのが大事のなってきます。私達アマチュアでも試合場に 5～6 個のボールを持ち込んで試合に臨みます。またボールを買った時も自分の投げ方をよく知ったプロにドリルしてもらい大きく曲がる様に、あるいはあまり曲がらない様に注文してドリルしてもらいます。ドリルしてもらった最初に投げたイメージが悪いとなかなか使わないボールになってしまいます。

ゴルファーが新しいクラブを次々と買い換えて行くのと同じで、ボウラーも新しい素材を使ったボールを次々と欲しくなるものです。むしろ自分の投球技術を考えずボールが合

わないとスコアをボールのせいにするのも、ゴルファースコアをクラブの性にするのと同じではないでしょうか？

私も、自分のへたな投げ方を棚に上げ、スコアをボールの性にしてボウリングを楽しんでいます。

上野 久男（越谷在住 信楽町出身）